

5.研究成果の発表

B 特定非営利活動法人奈良県腎友会 定時総会記念講演会

日時：平成 29 年 5 月 21 日（日） 13：00～15：00

場所：奈良県文化会館

(1) 「～足病について～」

講演会

- ・演題 1 「足病の現状について」
講演者 大浦 武彦
 - ・演題 2 「整形外科の観点から足病を語る」
講演者 門野 邦彦（南奈良総合医療センター 整形外科）
 - ・演題 3 「血行再建の観点から」
講演者 市橋 成夫（奈良県立医科大学 放射線科・IVR センター）
- ・総合討論

【アンケート結果】

参加者数（内アンケート回答者数 72 人）

	男性	女性	合計	参加者数
透析患者	35人	17人	52人	87人
家族	2人	12人	14人	29人
医療関係者	2人	3人	5人	20人
一般・その他	0人	1人	1人	18人
合計	39人	33人	72人	154人

透析患者アンケート回答者内訳

年齢層	男性	女性	合計	透析歴	男性	女性	合計
40歳未満	0人	0人	0人	5年未満	6人	6人	12人
40歳代	0人	0人	0人	5年以上	7人	4人	11人
50歳代	1人	2人	3人	10年以上	5人	1人	6人
60歳代	12人	7人	19人	15年以上	5人	2人	7人
70歳代	16人	5人	21人	20年以上	7人	2人	9人
80歳代	5人	2人	7人	25年以上	3人	1人	4人

未記入	1人	1人	2人	未記入	2人	1人	3人
合計	35人	17人	52人	合計	35	17人	52人

1. 今回の講演会を何でお知りになりましたか。(回答数：72人)

会報・ホームページ等 41人 ポスター・チラシ 4人 医師・施設の紹介 12人
知人・友人の紹介 5人 その他 5人 未記入 5人

2. 講演の内容についていかがでしたか。(回答数：72人)

演題	講師	わかり易かった	難しかった	どちらでもない
足病の現状について	大浦先生	69人	1人	1人(未回答1人)
整形外科の観点から	門野先生	65人	2人	2人(未回答3人)
血行再建の観点から	市橋先生	67人	0人	2人(未回答3人)
総合討論	-	37人	0人	0人(未回答35人)

(感想)・生々しい動画で激しいインパクトを受け全ての講演内容がインプットできた

- ・足病は今まで全く気にしてなかったがこれからは足を見るようにしたい
- ・足病についてとてもわかり易くまた画像も多くとても良かった
- ・足病はとても怖い恐ろしい病気だと感じました
- ・いつになくわかり易く実務的で身を入れて聞きました
- ・足病の予防のやり方をわかり易く勉強できる資料が欲しい
- ・奈良県に足病の病院が無いことと当県の足病医療の遅れを実感した
- ・奈良でも足病関係の専門病院を作ってください
- ・少々マニアックで病変の写真はチョットでした
- ・病状用語が理解困難でスクリーンの文字が小さく見えにくかった
- ・一人でも多くの患者さんが足を失う事無く人生を謳歌できる様看護したい
- ・先生の説明で看護師が足を定期的に検査している訳を患者が理解して頂ける
- ・糖尿病患者で無くても透析で足病発症リスクが高まる事を患者に広めたい
- ・「お助けマン」秋野議員が何をしてくれたかの説明が不十分ではないですか

3. 奈良県腎友会の講演会に参加したのは何回目ですか。(回答数：72人)

初めて 12人 2～3回目 20人 4回目以上 36人 未回答 4人

4. 今後もこのような講演会等があれば参加したいと思いますか。(回答数：72人)

是非参加 37人 出来れば参加 31人 どちらともいえない 4人

5.移植登録についてお尋ねします。(回答数:52人)

現在登録中 2人 登録中止 11人 登録していない 35人 未回答 4人

6.登録を止めた OR 登録をしない理由をお聞かせください。

(登録していたが登録中止した理由)

- ・いくら待ってもドナーが見つからなかったから
- ・移植が回ってこないと思ったから
- ・当たらない・順番が回ってくるとは思わないから
- ・難しい現実を知ってしまったため
- ・兄が生体腎移植後死亡したため
- ・高齢になったため若い人に移植の機会を譲りたいから
- ・多くの方がおられできるだけ数多くの方が命をつないで頂ければ
- ・透析導入後腎移植の登録をいたし71歳まで継続のところ、登録情報で一万人に1人の割合にて、まして年齢制限もあり、登録していても無駄と判断し取り止めた

(初めから登録していない理由)

- ・透析治療に不満なし・透析で何とか生命維持可能
- ・導入が高齢であったから・若い人に譲りたい
- ・手術で体に傷を付けるのがいやだから
- ・移植手術が不安・手術の成功率に疑問あり
- ・夫婦間の移植でも簡単にできると声大に言われるが身近に死亡例あり
- ・日本ではドナーが少ないため・移植に当選しそうにないから
- ・移植者にガン発症率が高いと聞く
- ・手術後の抑制剤の副作用が怖い
- ・あきらめ
- ・もう年だから

(その他)

- ・年齢が高く腎移植を受けられる確率が少ないが、腎移植は是非したいので移植の推進をお願いしたい

平成29年5月25日

報告者 多田 芳仁